

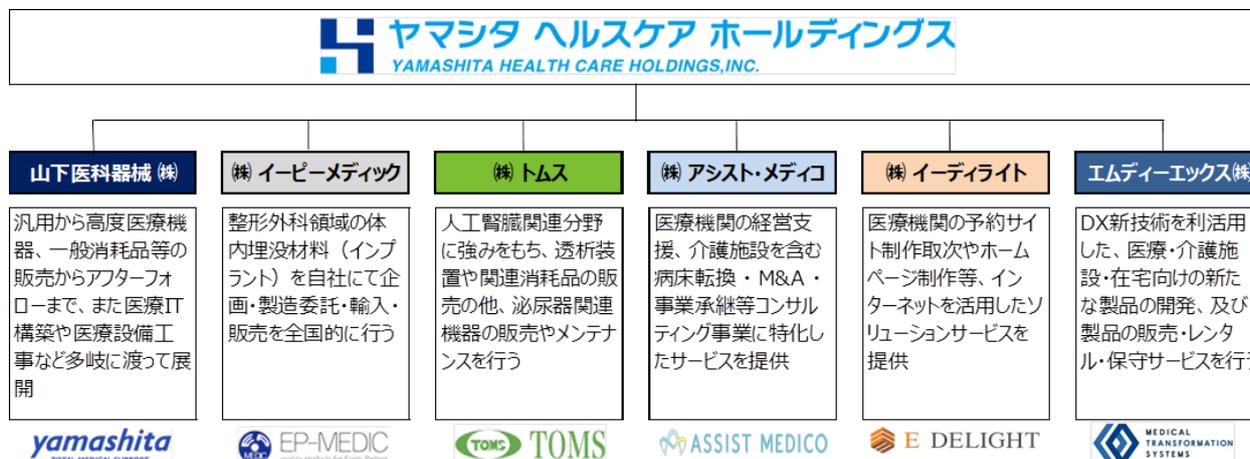
【ESG 経営に関わる当社実績および目標について】

標題の件、当社グループが取り組む ESG 経営について、これまでの実績および今後の目標について、お知らせいたします。

1. 当社および当社グループ概要

会社名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本社所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル10階
資本金	4億9,402万5,000円
事業内容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業会社の経営管理、及びそれに付帯する業務
代表者	代表取締役 執行役員 社長 山下尚登
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	9265
決算期	5月

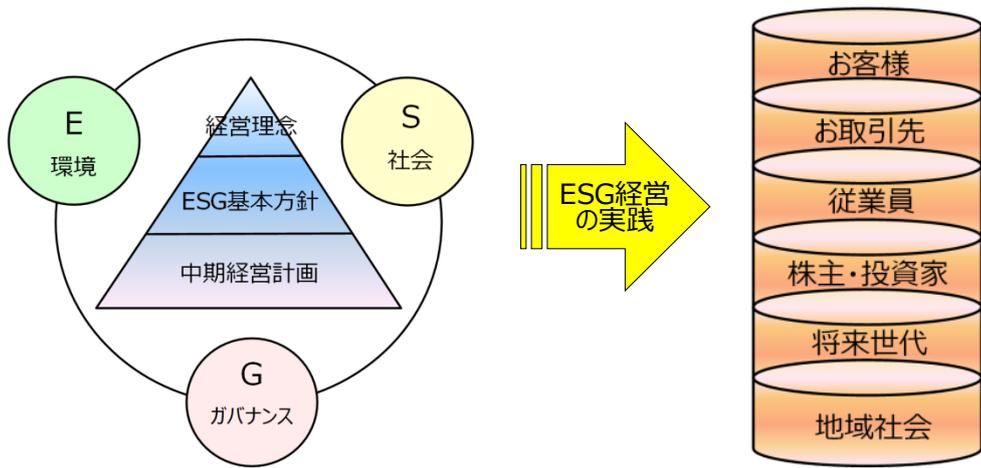
ヤマシタヘルスケアホールディングス・グループは、事業会社 6 社から構成されます。



2. ESG 経営に向けた当社の考え

当社グループの経営理念「地域のヘルスケアに貢献する」は、SDGs が目指す「誰ひとり取り残さない社会の実現」と強く結びついており、次に掲げる『ESG 基本方針』に基づき、経営の推進やステークホルダーの皆様に対する情報開示を行っております。

当社グループは ESG 経営と SDGs の融合を図り、「サステナブルでよりよい社会」の実現を目指しております。ヘルスケア領域において、短期的・中長期的両方の視点で社会課題の解決に取り組むことにより、当社グループの更なる成長を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



当社取り組みの概念

全てのステークホルダーのために

ESG 基本方針

〔 Environment : 環境に対する方針 〕

『私たちは、環境保全もまた人類共通の重要課題と認識します。当社グループの事業活動において、省エネルギーに資する設備の導入やエネルギー効率を高める運用改善などを推進し、CO2 排出抑制と省エネルギーに貢献し、自然環境への配慮と負荷の低減に努めます。』

〔 Social : 社会に対する方針 〕

『私たちは、地域、社会の期待に応える幅広いヘルスケアサービスの提供によって、地域の発展を支えています。また、価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成、多様性のある人材活用を通じ、全てのステークホルダーと協働することで、社会が抱える課題解決に取り組めます。』

〔 Governance : ガバナンスに対する方針 〕

『私たちは、関連法規をはじめ、コンプライアンス遵守に努め、社会の規範となる高度な倫理性に根ざした事業活動に努めます。また、経営の透明性を高めることにより、企業価値を更に向上させていきます。』

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3. ESG 基本方針を踏まえた当社の取り組み

当社グループの ESG 経営に関する方針と重要課題への取り組み、設定目標をご紹介します。

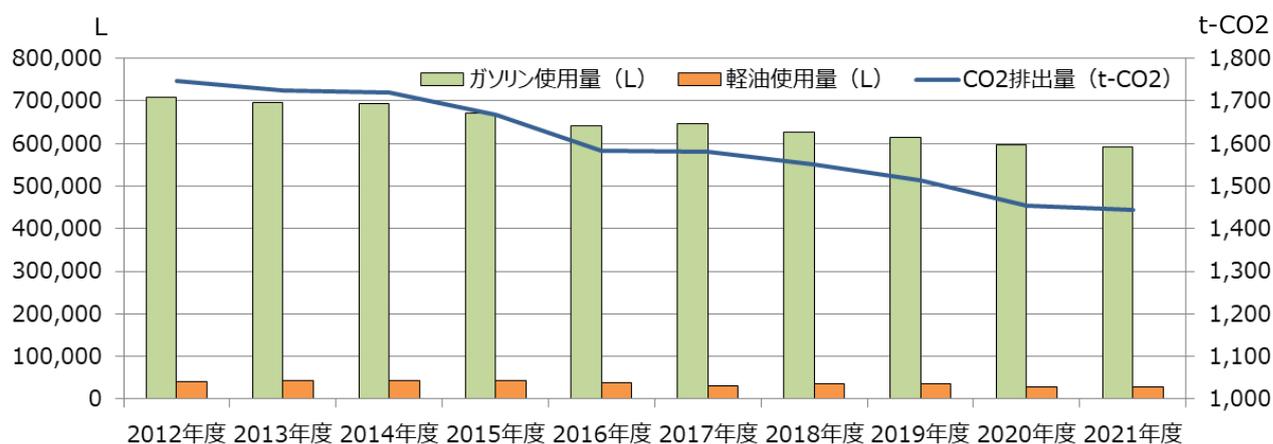
〔 Environment : 環境に対する方針 〕

当社グループは環境に対する方針で「CO2 排出抑制」、そして「省エネルギー」を掲げ、地球温暖化の抑制や CO2 排出量の削減に重点を置くなど、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。当社グループでは、「ガソリン・軽油の使用量削減」「電力使用量の削減」「省エネルギー車両への切り替え」について対前年比減を重点目標に設定し、2050 年のゼロカーボンシティに貢献できるよう、引き続き取り組んでまいります。

➤ ガソリン・軽油の年間使用量及び CO2 排出量推移

年度 (4~3月)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン使用量 (L)	707,349	694,951	692,926	670,389	640,427	645,610	627,554	613,441	595,661	591,793
軽油使用量 (L)	40,529	43,274	42,661	42,652	37,360	31,798	36,238	34,664	27,853	27,468
CO2排出量 (t-CO2)	1,747	1,725	1,719	1,667	1,583	1,581	1,551	1,514	1,455	1,445

注：使用したガソリンや軽油は、環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」に基づき算出。



➤ 年間電力使用量及び CO2 排出量推移 ※1

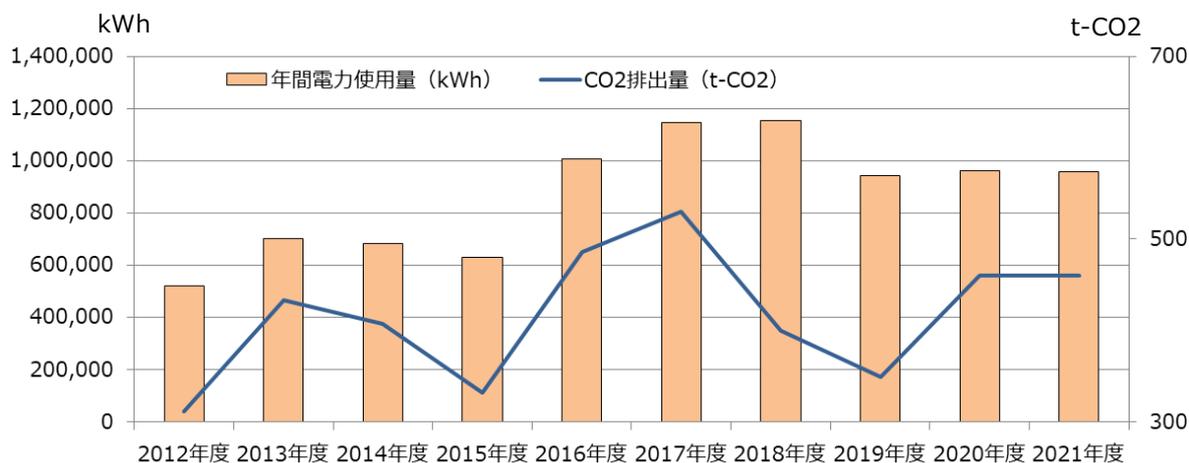
年度 (4~3月)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO2排出係数 ※2	0.0006	0.00062	0.0006	0.00053	0.000483	0.000463	0.000347	0.00037	0.000479	0.00048
年間電力使用量 (kWh)	519,285	701,694	681,878	629,721	1,006,874	1,145,113	1,152,430	944,132	961,527	957,554
CO2排出量 (t-CO2)	311	433	408	332	486	530	400	349	461	460

注：使用した電力は、環境省「算定・報告・公表制度における算定方法一覧」、九州電力発表 CO2 排出係数に基づき算出。

※1:年間電力使用量は、鳥栖物流センター・鳥栖 SPD センター（以上佐賀県）・福岡 SPD センター・長崎物流センターの合計。なお福岡 SPD センターは 2013 年度設立、長崎物流センターは 2016 年度設立、ともに設立時から LED 照明。鳥栖物流センター・鳥栖 SPD センター(佐賀県)は 2019 年に LED 照明に切り替え。

※2:直近 2020~2021 年度における CO2 排出量急増は、九州電力発表排出係数 (t-CO2/kWh) 上昇による。九州電力によると販売電力量が減少した中、原子力発電所の発電電力量が定期検査に伴い減少したこと、火力発電所の発電電力量が増加したことから、前年度に比べ CO2 排出係数が上昇したとのこと。

(引用：九州電力ホームページ)



※1：2013年福岡 SPD センター設立、2016年長崎物流センター設立

〔 Social : 社会に対する方針 〕

当社グループは、社会に対する方針で「価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成」「多様性のある人材活用」を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。国内外において、健康や福祉、人権・貧困、都市と暮らし、ジェンダー平等や教育などさまざまな社会課題が顕在化しており、ヘルスケア領域を主軸に社会インフラを担っているという事業特性上、この課題は取り組まなければならないことであり、果たすべき役割も大きいものと考えます。

また、女性活躍推進法における一般事業主行動計画（2020年～2025年）では、新卒採用における女性社員の比率を25%超とすると目標を設定しております。

これらを踏まえ、当社グループは 2024年5月期を最終年度とする中期経営計画にある、女性や若年層、定年を迎えるシニア世代もが活躍できるダイバーシティ環境の実現に係る制度を構築し、多くの従業員が活躍できる場を創出します。

▶ダイバーシティ&インクルージョン推進

当社では、持続的な成長と企業価値向上のために、多様な価値観を尊重することが重要と考え、様々な人材が活躍できる職場環境を整備しています。女性が職業生活で希望に応じて能力を発揮し、活躍できる環境の整備に努め、広く活躍の機会を提供していきます。

当社年度（6～5月）	2019年度	2020年度	2021年度
全従業員に占める女性の割合	49.2%	49.0%	48.7%
全従業員数	891	885	894
うち女性	439	434	435

当社年度（6～5月）	2019年度	2020年度	2021年度
新卒採用に占める女性社員の割合	37.5%	16.7%	25.0%
新卒採用者数	8	12	24
うち女性	3	2	6

当社年度（6～5月）	2019年度	2020年度	2021年度
全管理職に占める女性社員の割合	4.8%	4.8%	5.5%
管理職数	104	104	110
うち女性	5	5	6

当社グループでは人事ポリシーを制定し、経営戦略と一体になった人事を実践し、未来を切り開く持続成長可能な人材の育成を行っています。

その他の取り組みについては、当社サイトをご覧ください。 <https://www.yhchd.co.jp/>

〔 Governance : ガバナンスに対する方針 〕

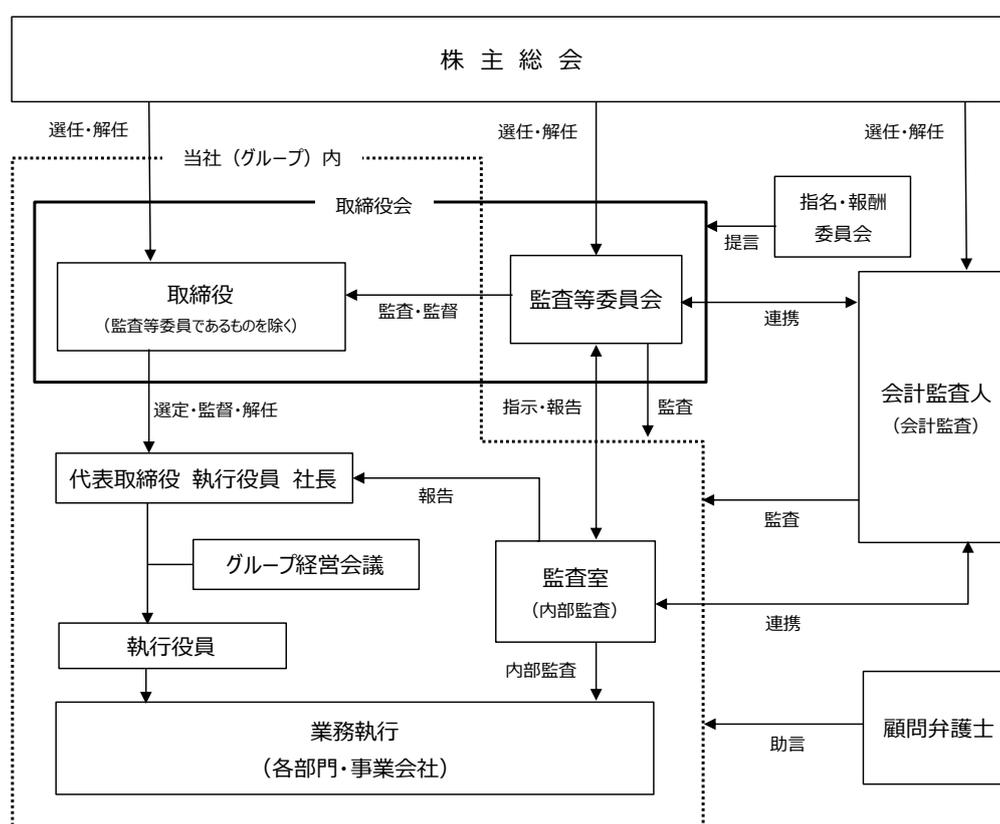
当社グループは、ガバナンスに対する方針で「コンプライアンス遵守」「高度な倫理性に根ざした事業活動」を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

当社グループは、ヘルスケアを担う企業として、公的役割も担っているという事業特性上を認識した行動が求められています。

当社グループでは、「コンプライアンス遵守」「高度な倫理性」を重点課題として掲げ、役員および従業員が社会課題に取り組むことができるよう、毎年度定期的に教育訓練や理解度向上に向けた活動を実施します。

＜コーポレート・ガバナンス＞

当社グループは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、高い倫理性が求められる医療に関わる企業として、コーポレート・ガバナンスを一元的に機能させています。



➤コンプライアンス体制

当社グループは、コンプライアンスを実践するにあたって基本方針を制定し、また役員および従業員の判断基準となる行動指針を設けています。経営トップをはじめとする全取締役は、コンプライアンス経営の推進に取り組み、この倫理観・価値観をグループ全体で共有し、実践するものとしています。

この他、内部統制システム、反社会的勢力排除・腐敗防止、グループ会社管理体制、プライバシーガバナンス指針等の取り組みについては、当社サイトをご覧ください。 <https://www.yhchd.co.jp/>

以上